

公益社団法人 計測自動制御学会 関西支部
第56回 支部会議ならびに特別講演会次第

- I 開催日 令和3年(2021年)1月8日(金)
- II 場所 Zoom 上での遠隔開催
- ミーティング ID:
829 8676 8156
- パスコード:
419317
- III 支部会議 17:10-17:40
1. 令和2年度 事業報告
 2. 主要な活動状況と新しい試みの報告
 3. 令和3年度 事業計画
 4. 令和3年度 支部運営委員の紹介
 5. 支部長賞表彰
 6. 新支部長挨拶
- IV 特別講演会 17:45-18:45
- 「超スマート社会とシステムズアプローチ」
貝原俊也氏(神戸大学大学院システム情報学研究科・教授)

資料目次

第56回 計測自動制御学会 関西支部 支部会議資料

令和2年度 事業報告	(3/11)
主要な活動状況と新しい試みの報告	(6/11)
令和3年度 事業計画	(7/11)
令和2年度 収支決算書	(8/11)
令和3年度 収支予算書	(9/11)
令和3年度 運営委員名簿	(10/11)

特別講演会資料

貝原俊也氏によるご講演の要旨	(11/11)
----------------	---------

事業報告

項目	内容
I 事業	<p>1. 特別講演会 2020年1月10日(金) 大阪府立大学 I-site なんば 「エネルギーと技術からみた縮小社会の必然性」 京都大学名誉教授, 縮小社会研究会会長 松久寛氏</p> <p>2. オンライン勉強会 題目: 「Python で学ぶ制御工学」 YouTubeLive でのリアルタイム配信(全3回)と録画動画の公開 講師: 南裕樹(大阪大学) 参加費: 無料</p> <p>5/26(火), 10:00-12:00 「Python と制御工学の基礎」 申込者数 384 名, リアルタイム参加者 127 名 2020/01/04 時点の視聴回数 3453 回</p> <p>6/9(火), 10:00-12:00 「伝達関数モデルを用いた制御系設計」 申込者数 360 名, リアルタイム参加者 74 名 2020/01/04 時点の視聴回数 1150 回</p> <p>6/23(火), 10:00-12:00 「ループ整形, 現代制御理論の基礎」 申込者数 317 名, リアルタイム参加者 46 名 2020/01/04 時点の視聴回数 587 回</p> <p>3. シンポジウム 2019 年度 計測自動制御学会関西支部・システム制御情報学会シンポジウム 2020年1月10日(金) 大阪府立大学 I-site なんば 一般講演数 48 件</p> <p>4. 支部長賞 合計 5 件の自薦他薦から, 奨励賞 2 件を受賞対象とした。 公募: 2020年11月1日(日)~30日(月) 選考: 2020年12月16日(水) 奨励賞: 今林亘(奈良先端科学技術大学院大学) 「フィードバック誤差学習制御における フィルタ設計と強正実性の達成」 奨励賞: 津屋朋花(大阪府立大学) 「予見する風速を用いた浮体式洋上風車のブレードピッチ角制御」</p>

表は次のページに続く

前ページからの続き

項 目	内 容
II 会議	<p>5. 協賛事業 日本材料学会 関西支部 第15回若手シンポジウム 2020年12月5日(土) オンライン開催</p> <p>1. 支部会議 2020年1月10日(金) 大阪府立大学 I-site なんば</p> <p>2. 支部運営委員会 2020年4月13日(月) 正午-2020年4月21日(火), メール審議 2020年6月15日(月)10:00-11:30(Zoom) 2020年9月16日(水)17:20-19:20(Zoom) 2020年10月19日(月)13:00-15:00(Zoom) 2020年12月18日(金)16:00-17:21(Zoom)</p> <p>3. 委員会開催(運営委員会外) 講習会委員会: メールベース1回 シンポジウム委員会: Zoom 会議4回 見学会委員会: Zoom 会議1回, メールベース3回 支部長賞選考委員会: 事前の検討および1回の Zoom 会議</p>
III 会員状況	<p>2020年12月31日(火) 現在, 関西支部所管内</p> <p>正会員 645名(2019年末は666名) 准会員 2名(同0名) 学生会員 43名(同40名) 名誉会員 7名(同7名) 永年会員 11名(同10名) 賛助会員 32社,38口(同32社,38口)</p>
IV 運営委員	<p>支部長 羅志偉(神戸大学) 副支部長 鄭心知(京都高度技術研究所) 庶務幹事 森耕平(神戸大学) 庶務幹事 小蔵正輝(大阪大学) 会計幹事 桜間一徳(京都大学) 会計幹事 土井智晴(大阪府立大学工業高等専門学校)</p> <p>講習会委員会 委員長 片田喜章(摂南大学) 副委員長 川口夏樹(兵庫県立大学) 会計 久保輝宜(クボタ)</p>

表は次のページに続く

項 目	内 容
	<p>シンポジウム委員会</p> <p>委員長 遠藤孝浩 (京都大学)</p> <p>副委員長 青井伸也 (京都大学)</p> <p>庶務 若生将史 (神戸大学)</p> <p>庶務 西岡靖貴 (滋賀県立大学)</p> <p>庶務 金田さやか (大阪府立大学)</p> <p>会計 沖村祐亮 (川崎重工業)</p> <p>会計 上村祥平 (神戸製鋼所)</p> <p>見学会委員会</p> <p>委員長 南裕樹 (大阪大学)</p> <p>副委員長 橋本智昭 (大阪工業大学)</p> <p>庶務 瀧本真幸 (アズビル)</p> <p>庶務 加芝直志 (島津システムソリューションズ)</p> <p>庶務 青木豪 (オムロン)</p> <p>会計 畑善裕 (村田機械)</p> <p>会計 小林翔一 (三菱電機)</p> <p>支部長賞選考委員会</p> <p>委員長 鄭心知 (京都高度技術研究所)</p> <p>委員 羅志偉 (神戸大学)</p> <p>委員 森耕平 (神戸大学)</p> <p>委員 小蔵正輝 (大阪大学)</p> <p>委員 桜間一徳 (京都大学)</p> <p>委員 土井智晴 (大阪府立大学工業高等専門学校)</p> <p>委員 沖村祐亮 (川崎重工業)</p> <p>委員 加芝直志 (島津システムソリューションズ)</p> <p>委員 畑善裕 (村田機械)</p> <p>委員 小林翔一 (三菱電機)</p> <p>委員 片田喜章 (摂南大学)</p> <p>委員 遠藤孝浩 (京都大学)</p> <p>委員 南裕樹 (大阪大学)</p>

事業報告終了

主要な活動状況と新しい試みの報告

令和2年度のSICE関西支部は、新型コロナウイルス感染拡大防止を図るため、平時と比べて多くの変化を求められました。

まず、2019年度に引き続き大学の研究室を訪問先とした見学会を計画しておりましたが、新型コロナウイルス感染拡大の状況を鑑み、残念ながら見学会を中止せざるを得ませんでした。また、例年実施している講習会と平成30年度から不定期に開催している研究会も開催できませんでした。SICE関西支部の主催ではありませんが、計測展2020への協力も見送ることとなりました。

その一方で、オンラインの学びの場を提供することも支部の役割と考え、会員・非会員を問わず誰でも参加可能なオンライン勉強会「Pythonと制御工学の基礎」を見学会委員会により開催し、その録画動画は現在でもYouTubeで視聴が可能となっております。本日開催の「計測自動制御学会関西支部・システム制御情報学会シンポジウム」は初のオンライン開催という形式を採用することで対応いたしました。

これらの他に、令和2年度における主な変化として、以下のことが挙げられます。

- 主に本日のシンポジウムがオンライン開催となったことにより、令和3年度計上分の収入と支出が減少する見込みである。
- 運営委員会、支部長賞選考委員会、各委員会の会議等をオンラインで行った。関連して、資料の配布や整理の一部をウェブベースに移行した。
- 交通費と参加費を中心とした会計業務の効率化のために、決済の一部を電子決済・アウトソーシングできるようにした(本格的な実施は令和3年度から)。
- SICEに新しく准会員という会員資格ができたことに対応するために規程を改正した。

また、運営委員の交代や引継ぎをスムーズに行うための各種の検討を行ってまいりました。

令和3年度事業計画

項目	内容			
II 事業	特別講演会(1月)	1回	(令和2年度実績1回)	
	シンポジウム(1月)	1回	(同1回)	
	講習会(8月)	1回	(同0回)	
	見学会(9月)	1回	(同0回)	
	オンライン勉強会	随時	(同3回)	
	支部長賞(11月,12月)	1回	(同1回)	
	研究会	随時	(同0回)	
	協賛事業	随時	(同1件)	
	II 会議	支部会議	1回	(同1回)
		支部運営委員会	5回	(同5回)
2020年4月				
2020年6月				
2020年8月				
2020年10月				
2020年12月				
委員会開催				
講習会委員会		随時	(同1回)	
シンポジウム委員会		随時	(同4回)	
見学会委員会	随時	(同4回)		
支部長賞選考委員会(12月)	1回	(同1回)		

事業計画終了

2020年度 関西支部収支決算書

2020年1月1日～2020年12月31日

(単位:円)

収入		支出	
交付金収入(学会より)	911,955		
特定資産利息収入	0		
事業収入	393,500	事業費	799,634
支部会議収入	0	学術講演会費支出	0
部門大会収入	0	部門大会費支出	0
講演会収入	0	講演会費支出	0
講習会収入	0	講習会費支出	44,548
シンポジウム収入	343,500	シンポジウム費支出	665,086
研究会収入	0	研究会費支出	0
見学会収入	0	見学会費支出	0
国際交流活動収入	0	国際交流活動費支出	0
調査・資料収集活動収入	0	調査事業費支出	0
資格認定活動収入	0	資格付与事業費支出	0
体験活動収入	0	体験事業費支出	0
表彰活動収入	0	表彰費支出	90,000
部門交流活動収入	0	部門交流活動費支出	0
広報活動収入	0	広報活動費支出	0
記念事業収入	0	記念事業費支出	0
運営委員会事業収入	0	分配金支出	0
分担金収入	50,000	共催事業分担金支出	0
補助金・助成金収入	0		
		管理費	130,383
		運営委員会費支出	130,383
雑収入	14	給料手当	0
受取利息	14	臨時雇用資金	10,000
雑収入	0	退職給付費用	0
		旅費交通費	0
		通信運搬費	4,349
		建物減価償却費	0
		備品減価償却費	0
		消耗品費	242
		事務所費	0
		賃借料	0
		印刷製本費	0
		保険料	0
		諸謝金	0
		OA関係諸雑費	0
		租税公課	0
		分配金	0
		支払負担金	0
		委託費	0
		会場費	115,110
		原稿料	0
		技術交流会合費	0
		表彰関係費	162
		広告宣伝費	0
		雑費	520
		固定資産取得支出	0
		什器備品購入支出	0
		消費税相当額	0
収入合計(D)	1,305,469	支出合計(I)	930,017
		(収支差額(D)-(I))	375,452
繰入金収入(E)	0	他会計への繰出額(J)	375,452
特別繰入金収入	0		
国際会議	0	未収金回収不能額(L)	0
会誌翻訳	0	事業未収金回収不能額支出	0
共催事業	0	繰入金未収金回収不能額支出	0
特別交付金	0		
未収金補填収入	0		
寄附金収入(F)	0		
当期収入合計(A)=SUM(D:F)	1,305,469	当期支出合計(C)=SUM(I:L)	1,305,469
前期繰越収支差額	0	当期収支差額(A)-(C)	0
収入合計(B)	1,305,469	次期繰越収支差額(B)-(C)	0

2021年度 関西支部収支予算書

2021年1月1日～2021年12月31日

(単位:円)

収入			支出	
交付金収入(学会より)		0		
特定資産利息収入		0		
事業収入		240,000	事業費	
学術講演会収入	0		学術講演会費支出	0
部門大会収入	0		部門大会費支出	0
講演会収入	0		講演会費支出	0
講習会収入	0		講習会費支出	0
シンポジウム収入	130,000		シンポジウム費支出	170,000
研究会収入	0		研究会費支出	0
見学会収入	60,000		見学会費支出	300,000
国際交流活動収入	0		国際交流活動費支出	0
調査・資料収集活動収入	0		調査事業費支出	0
資格認定活動収入	0		資格付与事業費支出	0
体験活動収入	0		体験事業費支出	0
表彰活動収入	0		表彰費支出	100,000
部門交流活動収入	0		部門交流活動費支出	0
広報活動収入	0		広報活動費支出	0
記念事業収入	0		記念事業費支出	0
運営委員会事業収入	0		分配金支出	0
分担金収入	50,000		共催事業分担金支出	50,000
補助金・助成金収入	0			
			管理費	291,000
			運営委員会費支出	291,000
雑収入		1,000	給料手当	0
受取利息	1,000		臨時雇用賃金	20,000
雑収入	0		退職給付費用	0
			旅費交通費	60,000
			通信運搬費	20,000
			建物減価償却費	0
			備品減価償却費	0
			消耗品費	20,000
			事務所費	0
			賃借料	0
			印刷製本費	10,000
			保険料	0
			諸謝金	0
			OA関係諸雑費	0
			租税公課	0
			分配金	0
			支払負担金	0
			委託費	0
			会場費	100,000
			原稿料	0
			技術交流会会費	0
			広告宣伝費	0
			web会議準備費	50,000
			雑費	11,000
			固定資産取得支出	0
			什器備品購入支出	0
			消費税相当額	0
収入合計(D)		241,000	支出合計(I)	911,000
			(収支差額(D)-(I))	-670,000
繰入金収入(E)		0	一般会計繰入金支出(J)	0
特別繰入金収入	0		未収金回収不能額(L)	0
国際会議	0		事業未収金回収不能額支出	0
会誌翻訳	0		繰入金未収金回収不能額支出	0
共催事業	0			
特別交付金	0			
未収金補填収入	0			
寄附金収入(F)		0		
当期収入合計(A)=SUM(D:F)		241,000	当期支出合計(C)=SUM(I:L)	911,000
前期繰越収支差額		0	当期収支差額(A)-(C)	-670,000
収入合計(B)		241,000	次期繰越収支差額(B)-(C)	-670,000

令和3年度 関西支部運営委員名簿

役職	氏名
支部長	鄭心知 (京都高度技術研究所)
副支部長	藤本健治 (京都大学)
庶務幹事	森耕平 (神戸大学)
	丸田一郎 (京都大学)
	花田研太 (奈良先端科学技術大学院大学)
会計幹事	土井智晴 (大阪府立大学工業高等専門学校)
	佐藤訓志 (大阪大学)
シンポジウム委員	青井伸也 (京都大学)
	浦久保孝光 (神戸大学)
	細江陽平 (京都大学)
	西岡靖貴 (滋賀県立大学)
	小林友明 (大阪府立大学)
	中岡輝久 (川崎重工業)
	上村祥平 (神戸製鋼所)
講習会委員	川口夏樹 (兵庫県立大学)
	杉川智 (大阪工業大学)
	久保輝宜 (クボタ)
見学会委員	橋本智昭 (大阪工業大学)
	池田篤俊 (近畿大学)
	望月一人 (島津システムソリューションズ)
	浅井恭平 (オムロン)
	瀧本真幸 (アズビル)
	小林翔一 (三菱電機)
	北尾太市 (村田機械)

ここまで

特別講演

講師：

貝原俊也氏 神戸大学大学院システム情報学研究科・教授

講演題目：

超スマート社会とシステムズアプローチ

講演概要：

日本の科学技術が目指す超スマート社会とはどのようなものなのだろうか。また、この実現には、どのような研究開発が必要となるのであろうか。本講演では、これらの問いに対するシステムズアプローチからの接近について紹介をおこなう。

ご略歴：

1985年京都大学大学院工学研究科修士課程修了。1993年 Imperial College London PhD コース修了 (PhD, DIC)。三菱電機(株) 生産技術研究所などを経て、2001年より神戸大学大学院自然科学研究科助教授、2004年より同大学工学部教授、2010年より同大学大学院システム情報学研究科教授となり現在に至る。現在、同大学価値共創スマートものづくり研究センターのセンター長を併任。

社会的交渉ベースのシステム最適化やシステムシミュレーションに関する理論と、その生産・サービス・社会システムなどへの応用に関する研究に従事。日本機械学会フェロー、国際生産工学アカデミー (CIRP) フェロー、システム制御情報学会会長、日本工学アカデミー、計測自動制御学会、電気学会、スケジューリング学会、IFAC、IFIP、IEEEなどの会員。